

令和7年度 第2学年 国語科 年間指導計画・評価計画(年間 140 時間)

目標	・課題意識をもって話を聞いたり、文章を読んだりして、自分のものの見方や考え方を深める。 ・自分の考えを明確にし、目的や場面に応じて話したり、論理的に文章を書いたりすることができる。
----	---

◆定期考査 ◇道徳

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	1	【詩】 見えないだけ ◇	1 詩を読み取る。 2 好きな言葉や表現を発表する。 3 詩の特徴を生かして朗読する。	①語感を磨き語彙を豊かにしている。 ③進んで語感を磨き、今までの学習を生かして朗読しようとしている。
	4	【小説】 アイスプラネット 漢字に親しもう1	1 作品を通読する。 2 登場人物の設定を確かめる。 3 ぐうちゃんに対する「僕」の思いを読み取る。 4 ぐうちゃんに対する自分の考えをまとめる。	②「読むこと」において、文章全体と部分との関係に注意しながら、登場人物の設定のしかたなどを捉えている。 ③登場人物の設定のしかたなどを積極的に捉え、学習課題に沿って考えたことを伝え合おうとしている。
	1	【聞く】 意見を聞き、整理して検討する	1 二人の意見と根拠を表で整理し、根拠の適切さを評価する。 2 整理した表を基に、自分はどちらの意見に納得できるか、考える。 3 学習を振り返る。	②異なる立場や考えを想定しながら集めた材料を整理し、伝え合う内容を検討している。 ③進んで意見と根拠の関係を整理しながら聞き、今までの学習を生かして根拠の適切さなどについて検討しようとしている。
	2	【文法1】 単語をどう分ける？ 自立語(文法1)	1 単語が幾つかの観点で分類されることを確かめ、そのうち「自立語」について学ぶことを理解する。 2 自立語の各品詞の性質などについて理解する。	①単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。 ②学習課題に沿って、積極的に自立語について理解を深めようとしている。
	5	【プレゼンテーション】 魅力的な提案をしよう	1 提案内容を決める。 2 話の構成や表現を工夫する。 3 プレゼンテーションをする。 4 学習を振り返る。	③自分の立場や考えが明確になるように、根拠の適切さや論理の展開などに注意して、話の構成を工夫している。 ③自分の考えがわかりやすく伝わるように粘り強く表現を工夫し、学習の見直しをもってプレゼンテーションをしようとしている。
5	5	【古典】 古文 枕草子 【書く】 自分流「枕草子」を書こう	1 「枕草子」を音読し、古文を読み味わう。 2 作者のものの見方や感じ方を読み取る。 3 自分流「枕草子」を書く。 4 学習を振り返る。	①現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ②文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ②目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、伝えたいことを明確にしている。 ②表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ③文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、学習課題に沿って自分ならではの季節感を表す文章を書こうとしている。
	1	《季節のしおり 春》	・春の行事・暦に関わる言葉や、春の情景を詠んだ短歌や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	③積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	3	【報告】 クマゼミ増加の原因を探る	1 本文を通読する。 2 全体と部分の関係に注意して、構成を捉える。 3 文章と図表の関係に注意して、内容を読み取る。 4 考えたことを話し合う。	②文章全体と部分との関係に注意しながら、主張と例示との関係などを捉えている。 ②文章と図表などを結び付け、その関係を踏まえて内容を解釈している。 ③積極的に文章と図表などを結び付けて内容を解釈し、考えたことを話し合おうとしている。
6	5	【書く】 情報整理 思考の視覚化 情報を整理して伝えよう	1 情報の関係を整理して、視覚的に表す方法を理解する。 2 情報を集め、整理する。 3 紙面を作成する。 4 感想を伝え合う。	①情報と情報との関係のさまざまな表し方を理解している。 ②目的や意図に応じて、社会生活の中から題材を決め、多様な方法で集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にしている。

7	1	【漢字1】 熟語の構成 漢字に親しもう2	1 教材分を読み、熟語の構成の種類について理解する。	③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。	
	5	【詩歌】 短歌に親しむ 短歌を味わう	1 短歌を音読し、解説の内容を捉える。 2 短歌に用いられた、表現の効果を考える。 3 好きな短歌を選び、感想を書く。 4 学習を振り返る。	②短歌を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ②表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる短歌になるように工夫している。(B(1)ウ) ③表現の効果について進んで考え、学習の見直しをもって短歌を創作しようとしている。	
	2	【随筆】 言葉の力	1 文章の内容を捉える。 2 筆者の考え方を読み取る。 3 筆者の考え方について話し合う。 4 学習を振り返る。	②文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ③文章を読んで理解したことや考えたことを進んで知識や経験と結び付け、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。	
	2	【言葉1】 類義語・対義語・多義語 語彙を豊かに 抽象的な概念を表す言葉	1 類義語・対義語・多義語について理解する。 2 集めた言葉の類義語や対義語を集める。 3 言葉を比べ、用例を考える。	①類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句などについて理解し、話や文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ③積極的に類義語と対義語、多義的な語句、抽象的な概念を表す語句などについて理解しようとしている。	
	2	【情報】 メディアの特徴を生かして 情報を集めよう	1 災害時の情報収集・情報の読み取りについて考える。 2 情報を受け取る時の留意点を考える。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ②目的に応じて複数の情報を整理しながら適切な情報を得て、内容を解釈している。	
	1	【読書】 読書を楽しむ	1 さまざまな読書活動の中から、取り組む活動を選ぶ。 2 グループごとに活動を行い、感想を発表し合う。	③本や文章などには、さまざまな立場や考え方が書かれていることを進んで理解し、今までの学習を生かして、本の魅力や感想を共有しようとしている。	
	1	【読む】 翻訳作品の読み比べ 星の王子様 本の世界を広げよう	1 二人の翻訳者による「星の王子様」を読み比べる。 2 翻訳や外国文学について知る。	②観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。 ②文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。	
	2	《季節のしおり 夏》	・夏の行事・暦に関わる言葉や、夏の情景を詠んだ短歌や俳句などを味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	③伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。	
	9 ◆	5	【小説】 ヒューマノイド	1 作品を通読する。 2 場面の展開に注意して、人物の設定を捉える。 3 過去と現在を結び付けて、登場人物の言動を解釈する。 4 作品を読んで考えたことを語り合う。	①話や文章の構成や展開について理解を深めている。 ②登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ③登場人物の言動の意味について粘り強く考え、今までの学習を生かして作品の印象を伝え合おうとしている。
		5	【随筆・小説】 戦争文学から◇	1 作品を通読する。 2 表現に着目して、人物の人柄や心情を読み取る。 3 主人公の思いについて考える。	②観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や表現の効果について考えている。 ③文章の構成や表現の効果について進んで考え、今までの学習を生かして考えたことを伝え合おうとしている。
3		【書く】 表現を工夫して書こう 手紙や電子メールを書く ◇	1 伝える相手や目的、内容を決める。 2 適切な通信手段を選ぶ。 3 手紙や電子メールを書く。 4 学習を振り返る。	①敬語の働きについて理解し、文章の中で使っている。 ②根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果を考えて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。	
1		【推敲】 表現の効果を考える	・手紙の下書きを読み、より効果的な表現を考える。	②読み手の立場に立って、表現の効果などを確かめて、文章を整えている。	
1		【言葉2】 敬語	・敬語の働きや種類について理解し、敬語の組み合わせについて考える。	①敬語の働きについて理解し、話や文章の中で使っている。	
2	【話す・聞く】 質問で思いを引き出す	1 インタビューの準備をする。 2 インタビューを行う。	②論理の展開などに注意して聞き、話し手の考えと比較しながら、自分の考えをまとめている。		

10	1	【漢字2】 漢字の音訓 漢字に親しもう3	・同訓異字や同音異義語の使い分けについて理解する。	③積極的に同訓異字や同音異義語を理解し、学習課題に沿って漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	5	【論説】 モアイは語る―地球の未来	1 本文を通読する。 2 文章の構成と内容を捉える。 3 論理の展開を吟味する。 4 筆者の主張に対する意見を文章にまとめる。	①文章の構成や論理の展開について考えている。 ②文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。
	1	【思考】 思考のレッスン1 根拠の吟味	・根拠の適切さの吟味のしかたと、意見の説得力の高め方について理解する。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
	5	【書く】 適切な根拠を選んで書こう 意見文を書く	1 課題を決め、調べる。 2 構成を考える 3 意見文を書く。 4 交流する。	②根拠の適切さを考えて説明や具体例を加えたり、表現の効果をjえて描写したりするなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。
	1	【詩】 月夜の浜辺	・言葉の響きを味わい、表現に着目し、その効果について考える。	①語感を磨き語彙を豊かにしている。 ②表現の効果について考えている
	1	《季節のしおり 秋》	・秋の行事・暦に関わる言葉や、秋の情景を詠んだ短歌や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	③積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
11 ◆	6	【古典】 古文 平家物語	1 朗読して古典のリズムを楽しむ。 2 登場人物の言動から心情を考える。 3 読み取ったことを基に自分の考えを述べる。	①現代語訳や語注などを手がかりに作品を読むことを通して、古典に表れたものの見方や考え方を知っている。 ②登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。
	5	【古典】 古文 徒然草 【書く】 人物の特徴を捉え論じよう	1 注を手がかりにして読み、文章の内容を捉える。 2 本文を読み、内容をまとめる。 3 作者の考え方について話し合う。	②文章を読んで、自分の考えを広げたり深めたりしている。 ②わかりやすく伝わるように、段落相互の関係などを明確にし、文章の構成や展開を工夫している。 ③学習の見通しをもって登場人物について論じる文章を書こうとしている。
	5	【古典】 漢文 漢詩の風景	1 漢詩に描かれた情景や心情を読み取る。 2 構成や表現の効果を味わう。 3 漢詩の特徴を生かして朗読する。	②、観点を明確にして漢詩を比較するなどし、漢詩の構成や表現の効果について考えている。
12	5	【評論】 君は「最後の晩餐」を知っているか	1 二つの文章を比べながら読み、内容を捉える。 2 文章を比較し、気づいたことを話し合う。 3 筆者の意図や目的を考える。	②観点を明確にして文章を比較するなどし、文章の構成や論理の展開、表現の効果について考えている。 ②文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。
	1	【思考】 思考のレッスン2 具体と抽象	1 教材文を読み、具体と抽象について理解する。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。
	4	《季節のしおり 冬》	・冬の行事・暦に関わる言葉や、冬の情景を詠んだ短歌や俳句を味わい、伝統的な言語文化に親しむ。	③伝統的な言語文化に関するこれまでの学習を生かして、積極的に語感を磨き、言語文化を大切にしようとしている。
	5	【話す・聞く】 話し合い(進行) 話し合いの流れを整理する 立場を尊重して話し合おう 討論で視野を広げる	1 テーマについて情報を集める。 2 立場に分かれ、考えをまとめる。 3 グループで討論する。 4 討論を振り返る。	①意見と根拠、具体と抽象など情報と情報との関係について理解している。 ②互いの立場や考えを尊重しながら話し合い、結論を導くために考えをまとめている。
	2	【文法2】 走る。走らない。走ろうよ。 用言の活用(文法2)	・用言について、「活用」の意味や活用形などの用語、動詞・形容詞・形容動詞の活用について理解する。	①単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解している。
1	1	【読書】 「自分らしさ」を認め合う社会へ	1 二つの作品を通読する。 2 感想を伝え合う。	②文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。
	2	【文法3】 付属語(文法3)	・助動詞や助詞の種類や働きについて理解する。	①単語の活用、助詞や助動詞などの働き、文の成分の順序や照応など文の構成について理解する。

2 ◆	8	【小説】 走れメロス	1 作品を通読する。 2 作品の展開を捉える。 3 人物像を読み取る。 4 作品の魅力をまとめ、語り合う。	①登場人物の言動の意味などについて考えて、内容を解釈している。 ②文章を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。
	5	【書く】 描写を工夫して書こう 心の動きが伝わるように書く	1 題材を決め、設定や構成を考える。 2 文章を書く。 3 作品を読み合う。	①表現の効果を考えて描写するなど、自分の考えが伝わる文章になるように工夫している。 ②自分の文章のよい点や改善点を見いだしている。
	2	【言葉3】 話し言葉と書き言葉	1 話し言葉と書き言葉の違いについて考える。 2 話し言葉と書き言葉の特徴を捉え、伝え方の注意点や工夫を理解する。	①話し言葉と書き言葉の特徴について理解している。
	3	【漢字3】 送り仮名 漢字に親しもう4	・送り仮名の付け方の主な原則と例外について理解する。漢字の成り立ちについて理解する。	③学習課題に沿って、積極的に漢字を読んだり書いたりしようとしている。
	2	【詩】 鍵	1 詩を読み、印象に残った表現を発表する。 2 表現の意味や、表現技法について考える。 3 作者のものの見方について語り合う。	②詩を読んで理解したことや考えたことを知識や経験と結び付け、自分の考えを広げたり深めたりしている。
通年	10	書写 ◇	硬筆・・・日本生活のいろいろな場面に応用できる美しい文字の書き方を学ぶ。 毛筆・・・基本点画をもう一度練習しながら、さらに上級の課題に取り組んでいく。	丁寧で正しい文字を書くという目標を達成している。

評価計画(各観点の評価方法)

観 点	①知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、筋道立てて考える力や豊かに感じ想像する力を養い、人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の考えを確かなものになっている。	言葉を通じて積極的に人と関わったり、思いや考えを確かなものにしたりしながら、言葉がもつ価値に気付こうとしているとともに、進んで読書をし、言葉を適切に使おうとしている。
評 価 方 法	・漢字テストなどの小テスト ・定期考査 ・書写	・授業時に行う発表・話し合い活動 ・提出物(ワークシート、作文、レポート等) ・定期考査	・授業態度(発言／態度／忘れ物) ・提出物(ワークシート、振り返り、ワーク、ノート) ・定期考査 ・小テスト

学習のアドバイス

<p>(1)授業態度</p> <ul style="list-style-type: none"> 積極的に発言をするなど、進んで授業に参加しましょう。 分からないところは自ら先生に質問したり、調べたりしましょう。 板書されたものをノートやワークシートに書くだけでなく、先生の話や仲間の意見から出た重要なことはメモをとりましょう。 <p>(2)提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> 計画的に学習を進め、期日を守って提出してください。 定期考査後や夏季休業明けなどには、ワーク、漢字練習ノートの提出が必要な場合があります。 <p>(3)単元ごとのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> 自分の課題を把握して、それを改善しようとするのが大事です。そのために単元の振り返りカードを活用しましょう。 評価基準は、年度当初の授業で出した通りです。 <p>(4)家庭学習</p> <ul style="list-style-type: none"> 一番大切なのは授業プリントの見直しです。答えだけでなくどのような過程で考えたのか、学習した内容をしっかりと復習しましょう。 教科書本文の音読をしましょう。繰り返し音読することで、内容理解が深まります。また、漢字の読み方の復習にもなります。 単元が終わったらワークの問題に取り組みましょう。定期考査前には繰り返し問題を解きましょう。 定期考査では漢字の問題が出題されます。計画的にワークや小テストの見直しに取り組み、定期考査前には復習するようにしましょう。 教科書やワークに出てくる語句の意味を調べ、進んで語彙を増やすようにしましょう。

令和7年度 第2学年 社会科 年間指導計画・評価計画(年間105時間)

目標	社会的事象に関心を持ち、資料を適切に理解し、表現する技能を養うとともに、公民的資質の基礎を培う。
----	--

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	【領域】 単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	1 0	【地理的分野】 日本の地域的特色	「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目を取り上げ、分布や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。	①日本の地形や気候の特色、海洋に囲まれた日本の国土の特色、自然災害と防災への取組などを基に、日本の自然環境に関する特色を理解している。 ①少子高齢化の課題、国内の人口分布や過疎・過密問題などを基に、日本の人口に関する特色を理解している。 ①日本の資源・エネルギー利用の現状、国内の産業の動向、環境やエネルギーに関する課題などを基に、日本の資源・エネルギーと産業に関する特色を理解している。 ①国内や日本と世界との交通・通信網の整備状況、これを活用した陸上、海上輸送などの物流や人の往来などを基に、国内各地の結び付きや日本と世界との結び付きの特色を理解している。 ①「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分を踏まえ、我が国の国土の特色を大観し理解している。 ①日本や国内地域に関する各種の主題図や資料を基に、地域区分をする技能を身に付けている。 ②「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目について、それぞれの地域区分を、地域の共通点や差異、分布などに着目して、多面的・多角的に考察し、表現している。 ②日本の地域的特色を、「自然環境」「人口」「資源・エネルギーと産業」「交通・通信」の項目に基づく地域区分などに着目して、それらを関連付けて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③日本の地域的特色と地域区分について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
5	6	【地理的分野】 九州地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、九州地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成する。	①地図や資料から、九州地方の自然環境の特色やそれを生かした産業、自然災害や防災への取り組みを読み取り、九州地方の地形や気候などの自然環境に関する特色や、人々の生活や産業と自然環境とのかかわりについて理解している。 ②自然環境に注目しながら、九州地方に暮らす人々の生活と産業との関係について多面的・多角的に考察している。 ③九州地方の自然環境と生活、産業との関係について関心をもち、九州地方の特色を主体的に追究しようとしている。
6	6	【地理的分野】 中国・四国地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中国・四国地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる	①地図や資料から、中国・四国地方の交通・通信網による結びつきを具体的にとらえ、他地域との結びつきに注目した視点で産業や生活の変化を理解している。 ②他地域との結びつきや産業の変容を、人や物の移動の量や方向から多面的・多角的に考察している。 ③中国・四国地方の歴史や地形、他地域との結びつきに関心をもち、それを主体的に追究している。
◆ 6	6	【地理的分野】 近畿地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、近畿地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①地図や資料から、近畿地方の自然環境や歴史的景観の保全について読み取り、環境保全に注目した視点から、近畿地方の地域的特色を理解している。 ②自然環境や歴史的景観の保全に注目しながら、そこに住む人々の生活や産業の変化などとの関係について、原因と対策、目的の面から多面的・多角的に考察している。 ③自然環境や歴史的景観の保全の視点からみた近畿地方の地域的特色に関心をもち、自然環境や人々の生活、産業などと関連させながら、主体的に追究している。
6 7	7	【歴史的分野】 結びつく世界との出会い	14～16世紀のヨーロッパでは、ルネサンスや宗教改革、アジアへの新航路の開拓などの動きがおこり、ヨーロッパ諸国が貿易や布教などを目的に世界各地へ進出していったことを理解する。 ヨーロッパ人が日本に来航した背景や目的を理解し、それが日本の社会に及ぼした影響について考える。	①ヨーロッパ人來航の背景とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、それが日本の社会に及ぼした影響について理解している。 ②交易の広がりとその影響などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、豊かな交易が行われていたアジアにヨーロッパ諸国が進出する中で、世界の交易の空間的な広がりが生み出され、それを背景として日本とヨーロッパ諸国の接触がおこったことや、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③世界の動きと関連付けながら、中世から近世への過渡期にある日本について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
7	6	【歴史的分野】 天下統一への歩み	織田信長・豊田秀吉による全国の統一事業や、朝鮮への出兵などの対外関係についてとらえ、近世社会の基礎がつけられていったことを理解する。 海外から南蛮文化などが取り入れられる一方で、武将や豪商の気風や経済力を背景とした豪壮・華麗な文化が生み出されたことに気づく。	①織田信長・豊田秀吉による統一事業とその当時の対外関係、武将や豪商などの生活文化の展開などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、近世社会の基礎がつけられたことを理解している。 ②統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、中世社会から近世社会への変化の様子や、日本の政治や文化に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。

				③信長・秀吉による統一事業により、近世社会の基礎がつくられていったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9	6	【歴史的分野】 幕藩体制の 確立と鎖国	江戸幕府の成立と大名統制、鎖国政策と鎖国下の対外関係、身分制度の確立と農村の様子をとらえ、幕府の政治の特色について考える。 江戸幕府により、幕府と藩による支配が確立したことを理解する。	①江戸幕府の成立と大名統制、身分制と農村の様子、鎖国などの幕府の対外政策と対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、幕府と藩による支配が確立したことを理解している。 ②統一政権の諸政策の目的などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、江戸幕府により全国を支配する仕組みが作られ、都市や農村における生活が変化したことや、安定した社会が構築されたことなどについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③江戸幕府の成立と、幕藩体制による支配の確立について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
9	6	【地理的分野】 中部地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、中部地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①さまざまな資料を活用して、中部地方の三つの地域の産業の特色と変化を読み取り、その地形や自然環境などにより異なる産業が発達したことを理解している。 ②中部地方の三つの地域において、さかんな産業に違いがある理由や、それぞれの産業が発達した理由について多面的・多角的に考察している。 ③産業の視点からみた中部地方の特色に関心をもち、自然環境や人々の生活と関連させながら、主体的に追究している。
◆ 10	8	【地理的分野】 関東地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、関東地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①関東地方の地域的特色やそれと関連する事象とそこに生ずる課題について理解している。 ②関東地方における人口の集中が成立する条件を、地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目して、他の事象やそこで生ずる課題と関連づけて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③地域の広がりや他地域との結びつき、人々の対応などに着目しながら、関東地方に暮らす人々の生活に監視をもち、地域的特色や地域の課題を意欲的に追究しようとしている。
10	6	【地理的分野】 東北地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、東北地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①地図や写真・雨温図などから、東北地方の自然環境の特色や、伝統的な祭りや工芸品の特色を読み取り、東北地方の地域的特色について理解している。 ②東北地方の産業の発達を写真や地図・グラフなどを活用してとらえ、人々の生活の変化と、それともなう東北地方の産業の課題を多面的・多角的に考察している。 ③東北地方を伝統的な祭りや工芸品、町なみの特色など生活・文化の視点から、関心をもち主体的に追究している。
11 ◆ 12	6	【地理的分野】 北海道地方	他地域との結びつきや地域などに関わる視点に着目して、北海道地方の特色ある地理的事象を他の事象と関連づけて多面的・多角的に考察し、表現する力を育成させる。	①地図や雨温図、統計資料などから北海道地方の地域的特色に関する情報を読み取り、北海道地方について、自然環境に注目した視点から地域的特色を理解している。 ②産業や開発の歴史に関する特色あることがらに注目して、自然環境や外国とのかわりなどに関連づけて多面的・多角的に考察している。 ③自然環境に注目した視点から、自然環境・産業や都市の発展と変化などに関心をもち、北海道地方の特色を主体的に追究している。
12 1	5	【地理的分野】 地域の在り方	空間的相互依存作用や地域などに着目して、課題を追究したり解決したりする活動を通して、次の資質・能力を身に付けることができるようにさせる。★	①地域の実態や課題解決のための取組を理解している。 ①地域的な課題の解決に向けて考察、構想したことを適切に説明、議論しまとめる手法について理解している。 ②地域の在り方を、地域の結び付きや地域の変容、持続可能性などに着目し、そこで見られる地理的な課題について多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 ③地域の在り方について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究、解決しようとしている。
1	7	【歴史的分野】 経済の成長と 幕政の改革	産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりについてとらえ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたことを理解する。 貨幣経済の広がりや百姓一揆などの農村の変化、江戸幕府の政治改革について理解するとともに、新しい学問・思想の動きに気づく。	①産業や交通の発達、教育の普及と文化の広がりが、社会の変動や欧米諸国の接近、幕府の政治改革、新しい学問・思想の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、町人文化が都市を中心に形成されたことや、各地方の生活文化が生まれたこと、幕府の政治が次第に行き詰まりをみせたことを理解している。 ②産業の発達と文化の担い手の変化や、社会の変化と幕府の政策の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、都市を中心とした経済が形成されていく中で、日本の文化の空間的な広がりが生み出され、それを背景として各地方の生活文化が生まれたことや、生産技術の向上や交通の整備と町人文化の特徴、貨幣経済が農村に広がる中で経済的な格差が生み出され、それを背景として百姓一揆が起こったことや、社会や経済の変化への対応としての諸改革の展開などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③産業の発達、教育の普及と文化の広がり、農村の変化、江戸幕府の政治改革など、日本の近世社会の発展と変化について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	6	【歴史的分野】 近代世界の 確立とアジア	欧米諸国が、市民革命や産業革命により近代社会を成立させたことを理解する。☆ 近代社会を成立させた欧米諸国が、新たな市場や原料の供給地を求めてアジアへ進出したことについて考える。◇	①欧米諸国における産業革命や市民革命、アジア諸国の動きなどを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を調べまとめ、欧米諸国が近代社会を成立させてアジアへ進出したことを理解している。 ②工業化の進展と政治や社会の変化などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、欧米諸国の市場や原料供給地を求めたアジアへの進出が、日本の政治や社会に与えた影響などについて多面的・多角的に考察し、表現している。 ③欧米諸国が市民革命や産業革命により近代社会を成立させ、アジアへ進出していったことについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみ

				られる課題を主体的に追究しようとしている。
2	7	【歴史的分野】 開国と幕府政治の 終わり	社会の変動や欧米諸国の接近に対する江戸幕府の対応・政治改革についてとらえ、幕府政治がだいたい行き詰まりをみせたことを理解する。 幕末の開国と、その政治的・社会的な影響について、欧米諸国のアジア進出との関わりから理解する。	①知識・技能 開国とその影響などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、開国によって人々の生活が大きく変化したことを理解している。 ②社会的な思考・判断・表現 幕府が対外政策を転換して開国したことなどに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、開国が政治や人々の生活に与えた影響について多面的・多角的に考察し、表現している。 ③主体的に学習に取り組む態度 欧米諸国のアジア進出が日本の開国をもたらしたことや、開国の影響と江戸幕府の滅亡について、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。
3	7	【歴史的分野】 明治維新と 立憲国家への歩み	○新政府による政治の改革や、富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の動きについてとらえ、明治維新により近代国家の基礎が整えられて、人々の生活が大きく変化したことを理解する。 ○自由民権運動や大日本帝国憲法の制定についてとらえ、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解する。☆	①富国強兵・殖産興業の政策、文明開化の風潮、自由民権運動、大日本帝国憲法の制定などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報について調べてまとめ、明治維新によって近代国家の基礎が整えられて人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が成立して議会政治が始まったことを理解している。 ②明治政府の諸改革の目的や、議会政治の展開などに着目して、事象を相互に関連付けるなどして、明治政府の諸改革が政治や文化や人々の生活に与えた影響や、現代の政治とのつながりについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 ③明治維新によって近代国家の基礎が整えられ、人々の生活が大きく変化したことや、立憲国家が形成されたことについて、よりよい社会の実現を視野に主体的に追究しようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリバラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・我が国の国土と歴史、国際関係等に関して理解している。 ・調査や諸資料から様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	・社会的事象の意味や意義、特色や相互の関連を多角的・多面的に考察できる。 ・社会的に見られる課題の解決に向けて選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、議論したりする力を身に付けている。	・社会的事象について、よりよい社会の実現を視野に、課題を主体的に解決しようと取り組んでいる。 ・自国や他国の文化を尊重することができる。
評 価 の 方 法	・提出物 (ワークシート・ノート・レポート) ・発言内容 ・小テスト・定期考査	・提出物 (ワークシート・ノート・レポート) ・発言内容 ・小テスト・定期考査	・提出物 (ワークシート・ノート・レポート・問題集) ・発言内容 ・授業態度

学習のアドバイス

(1)授業態度

- ① 先生や他の生徒の発言なども集中して聞くとともに、しっかりメモを取り、授業中の内容をしっかりノートにまとめましょう。
- ② 発言や話し合いを積極的に行い、自分の意見や考え方を人に伝えられるようにしましょう。

(2)家庭学習

- ① 授業や单元ごとにワークなどを活用し、計画的な復習を心がけましょう。
- ② わからない問題や間違えた問題は解答や教科書や資料集で調べるとともに、わからなければ早めに先生に質問しましょう。
- ③ ワークなどは複数回解くことを心掛け、知識の定着に努めましょう。
- ④ 問題集を解く力に余裕のある人は入試の過去問など難しい問題に挑戦し、力をつけていきましょう。

(3)单元ごとのふりかえり

- ① 年表やグラフ、図などに单元の内容をまとめると理解が深まります。
- ② ワークの单元のまとめも参考にするとよいでしょう。

令和7年度 第2学年 数学科 年間指導計画・評価計画（年間105時間）

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・数学を学ぶ中で数学のよさに気づき、学んだことを積極的に活用することができる。 ・多様な考え方を認め、自分の考えを深め、根拠をもって数学的に表現することができる。
----	--

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	【領域】 題材名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準（評価方法）
4 5	16	式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・文字を用いた式の四則や変形に関心を持ち、活用しようとする。 ・数量の関係について、式を用いて一般的に説明することができる。 ・文字を使った表現・意味を読みとり、基本的な計算ができる。 ・文字式で表すことや式を変形して考えることの意義を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 基本問題を理解し、解くことができる。（授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト） ② 数量関係について、式を用いて説明できる。（授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト） ③ 単項式・多項式・式の値の求め方など計算方法を考えようとしている。（授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト）
5 6 ◆ 7	17	連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・連立方程式を解くための操作に関心を持ち、活用しようとする。 ・方程式を連立させることの意味等を考察することができる。また、それを利用して解くことができる。 ・代入法や加減法を用いて連立方程式を解くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 代入法や加減法を用いて連立方程式を解くことができる。（ワーク、プリント、テスト） ② 応用問題などに連立方程式を用いて、考えることができる。（ワーク、プリント、レポート、テスト） ③ 連立方程式について学んだことを生かそうとしている。（授業への取り組み、ワーク、プリント、レポート、テスト）
7 9 ◆ 10	19	1次関数	<ul style="list-style-type: none"> ・2つの数量の関数関係に関心を持ち、その特徴を調べようとする。 ・1次関数の特徴を表・式・グラフを用いて考察することができる。 ・1次関数の関係を式で表すことができ、グラフでも表現できる。 ・1次関数の変化の割合とグラフの特徴を理解している。2元1次方程式との関係を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 変化の割合や方程式とグラフの特徴を理解している。（ワーク、プリント、テスト） ② 事象に潜む関係やきまりをとらえ、順序よく筋道をたてて考えている。（授業への取り組み、ワーク、レポート、プリント、テスト） ③ 1次関数の表、式、グラフを相互に関連付けようとしている。（授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト）
10 11 ◆ 12	18	図形の性質と合同	<ul style="list-style-type: none"> ・図形の様々な性質を理解し、証明の意義と方法を理解している。 ・図形の基本的性質を問題の解決に対して意欲的に活用しようとする。 ・仮定や定理を根拠にして結論を導くことができる。既習の図形の性質を用いて証明を表現することができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 簡単な図形の性質について理解し、証明を適切に行うことができる。（ノート、プリント、ワーク、テスト） ② 適切な定理・理論に基づいて図形の性質の証明方法を考察することができる。（ノート、プリント、ワーク、テスト） ③ 証明の必要性と意味を考え、根拠を明らかにして証明しようとしている。（授業への取り組み、プリント、ワーク、テスト）
12 1 2	20	三角形と四角形	<ul style="list-style-type: none"> ・二等辺三角形・正三角形・直角三角形の性質や条件を論理的に考察し、証明することができる。 ・平行四辺形、長方形、ひし形、正方形の間の関係を理解している。 ・逆や反例の意味を理解している。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 証明の必要性と意味を理解している。また、証明すべきことと図形の性質や条件を区別することができる。（プリント、ワーク、テスト） ② 特別な三角形や四角形の間を関係を論理的に考察し、まとめることができる。（プリント、ワーク、テスト） ③ 三角形と四角形について学んだことを生かそうとしている。（授業への取り組み、プリント、ワーク、テスト）

2 ◆ 3	8	データの活用★ ・四分位数および四分位範囲、箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 ・コンピュータなどの情報手段を用いるなどしてデータを整理し、箱ひげ図で表すことができる。 ・データの分布の傾向を読み取り、考察して判断できる。	①四分位数・四分位範囲・箱ひげ図の必要性和意味を理解している。 (ワーク、プリント、テスト) ②箱ひげ図とヒストグラムの関係を考察し、説明することができる。 (授業での取り組み、レポート、ワーク、テスト) ③データの活用で学んだことを生かそうとしている。 (授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト)
3	7	確率 ・身近な事象で確率が使われていることに興味をもち、活用しようとする。 ・起こりうる場合を順序よく整理するなどして、事象を数理的にとらえ、論理的に考察することができる。 ・樹形図や表などを用いて簡単な確率を求めることができる。 ・樹形図や表を使うことの意義や確率の意味を理解している。	① 確率の必要性和意味を理解している。 (授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト) ② 同様に確からしいことに着目し、場合の数をもとにして得られる確率の求め方を考察し、説明することができる。 (授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト) ③ 問題の条件を変えたときの影響などを考察し、新しい問題を見いだそうとしている。 (授業への取り組み、ワーク、プリント、テスト)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画 (各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・基礎的な概念や原理・法則などを理解している。 ・事象を数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けている。	・数の性質や計算についてや、数量の関係や法則などを考察することができる。 ・図形の性質や計量について論理的に考察し表現することができる。 ・関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察することができる。 ・複数の集団のデータの活用に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりすることができる。	・数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考えようとしている。 ・数学を生活や学習に生かし、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとしている。 ・多様な考えを認め、よりよく問題解決している。
評 価 の 方 法	・授業への取り組み ・提出物 (ワーク、プリント) ・小テスト、定期考査	・授業への取り組み ・提出物 (ワーク、プリント、テスト直し) ・小テスト、定期考査	・授業への取り組み ・提出物 (ワーク、プリント、テスト直し) ・小テスト、定期考査

学習のアドバイス

(1) 授業への取り組み

積極的に発言したり、問題と向き合ったりと進んで授業に参加する。
分からないところは、自ら友達や先生に質問して解決する。
話を聞くときと問題に取り組むときのメリハリをつける。
他者の意見からも学ぶ姿勢をもつ。
既習事項から新たな性質や考え方を見いだそうとする。

(2) 提出物

ワークは計画的に取り組む、丁寧に丸付けを行う。
ワークは早めに取り組む、丸付けを丁寧に行う。必要であれば途中式も書く。
(丸付けは1問ずつ確認しながらする。)
ワーク、テスト直しは必ず提出日までに提出できるよう、計画的に進める。

(3) 単元ごとのふりかえり

数学は次につながっていくので、分からないところは聞いたり、調べたりして解決する。
できなかった問題は、繰り返し取り組み、自分の力で解けるようにする。

令和7年度 第2学年 理科 年間指導・評価計画（年間140時間）

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 ・観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。 ・自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。
----	---

○理科 A

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	1	ガイダンス	年間の授業の説明	
5	8	化学変化と原子・分子 (1)物質の成り立ち	物質を分解する実験を行い、分解して生成した物質からもとの物質の成分が推定できることを見いだすとともに、物質は原子や分子からできていることを理解し、原子は記号で表されることを知り、これらの事象を日常生活と関連づけて考察しようとする意欲と態度を養う。	<p>【知】物質の成り立ちについて基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【思】物質の成り立ちについて問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【態】物質の成り立ちについて進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)</p>
	8	(2)物質どうしの化学変化	2種類の物質を化合させる実験を行い、反応前とは異なる物質が生成することを見いだすとともに、化学変化は原子や分子のモデルで説明できること、化合物の組成は化学式で表せることおよび化学変化は化学反応式で表されることを理解する。	<p>【知】物質どうしの化学変化について基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【思】物質どうしの化学変化について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【態】化学変化について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)</p>
6	7	(3)酸素がかかわる化学変化	酸化や還元の実験を行い、酸化や還元が酸素の関係する反応であることを見だし、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的な見方や考え方を養う。	<p>【知】酸化と還元について基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【思】酸化と還元について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【態】酸化と還元について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)</p>
	6	(4)化学変化と物質の質量	化学変化の前後における物質の質量を測定する実験結果から、反応の前後では物質の質量の総和と生成物の質量の総和が等しいこと、および反応する質量の間には一定の関係があることを見だし、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的な見方や考え方を養う。	<p>【知】化学変化による質量の変化について基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【思】化学変化による質量の変化について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【態】質量保存の法則について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)</p>
9	4	(5)化学変化とその利用	化学変化によって熱をとり出す実験の結果から、化学変化には熱の出入りがともなうことを見いだすとともに、これらの事象を日常生活と関連づけて科学的な見方や考え方を養う。	<p>【知】化学変化の利用について基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【思】化学変化と発熱の関係について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【態】化学変化の利用について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)</p>
	6	電気の世界 (1)静電気と電流	静電気によって起こる身近な現象から、異なる物質どうしをこすり合わせると静電気が起こり、帯電した物体間では空間をへだてて力がはたらくこと、および、静電気と電流は関係があることを見いだす。また、電流が電子の流れであることを理解するとともに	<p>【知】静電気と電流について基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p> <p>【思】静電気と電流について問題を見出し分析して解釈表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査)</p>

10	15	(2)電流の性質	日常生活と関連づけて科学的に考察しようとする意欲と態度を養う。また、それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、日常生活と関連付けて考察できる。	【態】静電気と電流について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)	
		(3)電流と磁界	電流回路をつくり、電流計や電圧計、などの操作技能を習得しながら、回路の電流や電圧を測定する実験を行い、電流や電圧に規則性を見いだす。また、電流によって熱や光などを発生させる実験を行い、電流から熱などがとり出せること、および電力のちがいによって発生する熱などの量にちがいがあることを見いだす。また、それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、日常生活と関連付けて考察できる。	【知】電流の性質について基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【思】電流の性質について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【態】電流の性質について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)	
			磁石や電流による磁界の観察を行い、磁界を磁力線で表すことを理解して、コイルのまわりに磁石ができることを知る。また、磁石とコイルを用いた実験を行い、磁界中のコイルに電流を流すと力がはたらくこと、およびコイルや磁石を動かすことによって電流が得られることを見いだすとともに直流と交流のちがいを理解する。また、それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、日常生活と関連付けて考察できる。	【知】電流と磁界について基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【思】電流と磁界について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【態】電流と磁界について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)	
11	8	生物のからだのつくりとはたらき (1)生物と細胞 ◇☆	生物の組織などの観察を行い、生物のからだは細胞からできていること、そして植物と動物の細胞のつくりの特徴を見だし、理解するとともに、観察器具の操作、観察記録の仕方などの技能を身に付ける。また、それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し自然を総合的に見ることでできる。	【知】生物と細胞について基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身につけている。(実験ノート、定期考査) 【思】生物と細胞について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【態】生物と細胞について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)	
		11	(2)植物のからだのつくりとはたらき	植物の葉・茎・根のつくりとはたらきについて着目しながら、観察実験などに関する技能を身に付ける。植物の光合成と呼吸、蒸散と葉・茎・根の関連性について、見通しをもって観察実験などを行い、結果を分析し、規則性や関係性を見出して表現できる。また、それについて進んでかかわり、探求しようとする態度と、生命を尊重し自然を総合的に見ることでできる。	【知】植物の体のつくりについて基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【思】植物の体のつくりについて問題を見出し分析して解釈表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【態】植物の体のつくりについて進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)
			12	(3)動物のからだのつくりとはたらき ★	消化や呼吸、循環についての観察・実験を行い、動物のからだには必要な物質をとり入れて運搬し、不要な物質を排出するしくみがあることを、理解できるようにする。それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し自然を総合的に見ることでできる。
		5		(4)刺激と反応	外界からの刺激に反応しているようすを観察し、刺激を受けとってから反応が起こるまでのしくみなどを観察の結果と関連づけて理解できるようにする。また、それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し自然を総合的に見ることでできる。
12	13	(3)電流と磁界	磁石や電流による磁界の観察を行い、磁界を磁力線で表すことを理解して、コイルのまわりに磁石ができることを知る。また、磁石とコイルを用いた実験を行い、磁界中のコイルに電流を流すと力がはたらくこと、およびコイルや磁石を動かすことによって電流が得られることを見いだすとともに直流と交流のちがいを理解する。また、それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、日常生活と関連付けて考察できる。	【知】電流と磁界について基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身につけている。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【思】電流と磁界について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験ノート、小テスト、定期考査) 【態】電流と磁界について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)	
					11

理科 B

月	時間	【領域】 題材名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	4	ガイダンス 天気とその変化 (1)気象の観測 (2)雲のでき方と前線 (3)大気の動きと日本の天気 演習 (3)動物のからだのつくりとはたらき (4)刺激と反応 演習	年間の授業の説明 気象観測を行うことを通して、気温、湿度、気圧、風向などの各気象要素の変化の関係を見いだす。また、圧力の実験から、空気による圧力の存在や風との関係性について見出すとともに、天気図から風のふき方等を理解する。また、露点の測定実験などを行い、水蒸気の凝結現象について理解する。	【知】気象の観測と雲のでき方について基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(定期考査) 【思】雲のでき方問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験プリント、定期考査) 【態】気象の観測や雲のでき方について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、振り返りシート)
5	8		前線通過の際の気温、湿度、気圧、風向、天気の変化、雲の種類などの観測結果にもとづいて、前線の通過を暖気と寒気の動きに関連づけてとらえる。また、前線の構造について、観測の結果や実際の降雨のようす、気温の変化、風向の変化などの経験に関連づけてとらえる。	【知】前線と天気の変化について基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(定期考査) 【思】前線と天気の変化について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験プリント、定期考査) 【態】前線と天気の変化について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、振り返りシート)
6	9		日本の天気の特徴を、天気図や気象衛星画像の変化から、日本の天気に影響をあたえる気団や偏西風と関連づけて考察する。また、日本の天気は大陸の影響を受けながらも海洋の影響を大きく受けていることを理解するとともに、太陽のエネルギーが大気を動かしていることを理解する。	【知】日本の天気の特徴について基本的な概念を理解し知識・技能を身に付けている。(定期考査) 【思】日本の天気の特徴について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験プリント、定期考査) 【態】日本の天気について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、振り返りシート)【知】静電気と電流について基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身に付けている。(定期考査)
7	7		消化や呼吸、循環についての観察・実験を行い、動物のからだには必要な物質をとり入れて運搬し、不要な物質を排出するしくみがあることを、理解できるようにする。それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し自然を総合的に見ることできる。	【知】動物の体のつくりについて基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身に付けている。(実験ノート、定期考査) 【思】動物の体のつくりについて問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験プリント、実験ノート、定期考査) 【態】動物の体のつくりについて進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)
8	7		外界からの刺激に反応しているようすを観察し、刺激を受けとってから反応が起こるまでのしくみなどを観察の結果と関連づけて理解できるようにする。また、それについて進んでかかわり、科学的に探求しようとする態度と、生命を尊重し自然を総合的に見ることできる。	【知】刺激と反応について基本的な概念を理解し、観察の基本や整理の仕方を身に付けている。(実験ノート、定期考査) 【思】刺激と反応について問題を見出し分析して解釈、表現している。(実験プリント、実験ノート、定期考査) 【態】刺激と反応について進んで関わり探求しようとする。(行動観察、小テスト、振り返りシート)
9				
10				
11				
12				
1				
2				
3				

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	自然の事物・現象についての基本的な概念や原理・法則などを理解しているとともに、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。	自然の事物・現象から問題を見だし、見直しをもって観察、実験などを行い、得られた結果を分析して解釈し、表現するなど、科学的に探究している。	自然の事物・現象に進んで関わり、見直しをもったり振り返ったりするなど、科学的に探究しようとしている。
評 価 の 方 法	・実験プリント、実験ノート、グラフ等 ・定期考査	・実験プリント、実験ノート等 ・定期考査 ・実験プリント	・授業態度：自己評価を含む ・授業プリント(振り返りシート等) ・小テスト ・実験プリント

学習のアドバイス

<p>(1)授業態度</p> <p>○普通の授業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自然事象に興味をもって授業に参加しましょう。 ・友だちの発表を聞きもらさないようにし、自分の考えとの違いや共通点を見つけよう。 ・発表するときや、班で活動・相談するときは自分の考えを積極的に相手にわかりやすく伝えるようにしましょう。 ・先生の指示をよく聞き、安全に実験・観察できるようにしましょう。 ・板書を写すだけでなく、先生が話した内容等で補足しながらわかりやすくまとめましょう。 <p>○実験・観察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・説明をしっかりと聞き、ペアや班全員で取り組み、見ているだけの人がいないようにしましょう。 ・積極的に参加し、安全には十分注意しましょう。 ・手順どおりに作業し、結果を出すだけでなく、結果からしっかりと考察しましょう。 ・方法や結果、自分の考察をまとめておきましょう。 <p>(2)提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・期限をしっかりと守り提出しましょう。 ・指示された内容がすべて書いてあるか、適切な内容がしっかり確認しましょう。 ・指示がなかったものでも、必要に応じて追加したり、補足資料として一緒に提出したりしましょう。 <p>(3)単元ごとのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノート、教科書や資料集を用いて、語句を確認しましょう。また、その語句を説明できるようにしておきましょう。 ・ワークやプリントの問題を繰り返し解きましょう。特に一度間違った問題は重点的に解くとよいでしょう。 ・実験や観察の手順や器具の使い方を確認しましょう。 ・実験や観察の結果から導き出せる法則や定理を文章で説明できるようにしておきましょう。 ・学習した日のうちに問題を解き、わからないところや間違ったところをしっかりと確認しましょう。 ・復習をしていてわからないことや疑問に思うことは、先生に聞き、解決しておきましょう。 ・実験や観察の結果をまとめましょう。 ・授業のノートや教科書をもとに、新しく学習した用語をきちんと理解しましょう。 ・学習した内容と身近な科学事象との関わりを調べ、ノートにまとめましょう。 ・計算問題や作図は繰り返し解きましょう。 ・一度解いた問題も繰り返し解き、知識を定着させましょう。 <p>(間違ったところは、何が間違っていたのかをきちんと確認しておきましょう。)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・不思議に思う身近な科学事象についてどんどん調べていきましょう。 ・学習したことが身のまわりのどんなところでおこっているのか、利用されているのか調べてみましょう。
--

令和7年度 第2学年 英語科 年間指導計画・評価計画(年間 140 時間)

目標	英語表現を用いて、学校生活や日常生活での様々な場面で、自分の状況を説明することができる。
----	--

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	単元名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	2	動詞の過去形/過去進行形	※教科書移行により過去進行形を学習 ・過去の出来事や状況などを伝える言い方を理解できる。	①一般動詞や be 動詞の過去形、過去進行形の使用場面、意味、文の形を理解している。
	10	Unit1 Hajin's Diary	・日記から、出来事や感想などを読み取ることができる。 ・日記に出来事や感想などを書くことができる。	①動詞の過去形、接続詞 when、「look＋形容詞」(SVC)の構文について理解している。 ②出来事や感想を整理して、日記を書いている。 ③出来事や感想の整理の仕方を考えて日記を書こうとしている。
5	2	Daily Life1 電話	・電話で、何かを頼んだり応じたりすることができる。	①Can you～?を使った依頼の仕方や電話特有の表現などの意味や働きを理解している。
	10	Unit2 Basketball Tournament	・友達の話から、企画に必要な情報を聞き取ることができる。 ・企画への希望や意見を、その場で伝え合うことができる。	①動名詞、不定詞の名詞的用法、接続詞 that ～について理解している。 ②企画立案に必要な情報を聞き取ることができる。 ③自分の考えが伝わるように、企画への希望や意見をその場で伝え合おうとしている。
6	1	Daily Life2 ラジオのニュース	・ニュースを聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。	①ラジオのニュースを聞いて、おおまかな内容を聞き取ることができる。
	2	Active Grammar1 動名詞/不定詞(名詞的用法)	・動名詞や不定詞の名詞的用法の形や意味、働きを理解することができる。	①動名詞や不定詞の名詞的用法の意味、形、使い方を理解している。
	10	Unit3 Plans for the Summer	・メールの要件や、返事が必要なことを読み取ることができる。 ・要件や気持ちが伝わるように、メールの返事を書くことができる。	①be going to,助動詞 will,接続詞 ifの構文について理解している。 ②メールから要件や返事が必要な情報を読み取り、適切に理解している。 ③予定や気持ちが伝わるように、簡単な語句や文を用いてメールの返事を書こうとしている。
	7	Daily Life3 アナウンス	・アナウンスから、必要な情報を聞き取ることができる。	①数字や時刻・時間、天気、気温の言い方、助動詞 will などの意味や働きの理解をもとに、空港や機内のアナウンスの内容を聞き取る技能を身につけている。
7	2	Active Grammar2 be going to/will	・未来のことを伝える言い方を理解することができる。	①be going to や助動詞 will の意味、形・使い方を理解している。
	4	Let's Read1 The Cookies ◇	・物語を読んで、あらすじを捉えることができる。	①出来事の順序や時を表す語句、人物の動作や気持ちを表す語句、接続詞 when などの意味や働きを理解している。 ③読むことの喜びを味わうために、登場人物の心情を読み取り、あらすじを捉えようとしている。
	1	Daily Life4 レストラン	・飲食店で注文をすることができる。・飲食店で、注文したり何かを依頼したりすることができる。	①Shall I～?や Would you like～?や Will you～? など注文のやり取りに特有の表現の意味や働きを理解している。
	3	You can do it!1 「わが町観光プラン」をおすすめしよう	・相手の興味・関心に応じた観光プランを考えて、発表することができる。	①好きなことなどの内容を読み取ることができる。 ②観光プランを、理由など整理して発表している。 ③伝える内容を整理して発表しようとしている。
9	1	World Tour1 世界のいろいろな英語	・インタビュー動画の内容を聞き取ることができる。	①既習の表現・語句の意味や働きを理解している。 ②必要な情報を聞き取り、適切に理解している。 ③インタビュー動画の情報を聞き取ろうとしている。
	10	Unit4 Tour in Singapore ◇	・ガイドブックから、施設やできることなどを読み取ることができる。 ・施設やできることなどを言って、場所を紹介することができる。	①There is～や、SV00、不定詞の形容詞的用法について理解している。 ②ガイドブックから必要な情報を読み取り適切に理解している。 ③施設やできる事の情報を読み取ろうとしている。
◆	2	Active Grammar3 目的語	・動詞の目的語について理解することができる。	①SV0とSV00の文の形を理解している。
	10	Unit5 How Do We Stay Safe? ◇	・説明から、必要な情報を聞き取ることができる。 ・防災バッグに入れるものを決める、話し合いをすることができる。	①助動詞 must,「have to＋動詞の原形」や、不定詞に代わる It の文の用法について理解している。 ②自分の考えをグループで伝え合っている。 ③説明から必要な情報を聞き取ろうとしている。

10	1	Daily Life5 電車の乗り換え	<ul style="list-style-type: none"> 電車の乗り換えについてたずねることができる。道案内ができる。 ペアになり、モデルスキット、オリジナルのやり取りを考えて演じたりする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①May I ~?、「how to+動詞の原形」、Could you tell me the way to ~?など道案内特有の表現の意味や働きを理解している。 ③電車の乗り換えについてたずねたり、乗り換えや切符の買い方を案内したりしようとしている。
	1	Daily Life6 体調不良	<ul style="list-style-type: none"> 体調をたずねたり、助言をしたりするやり取りができる。 	①助動詞 should や、You look など症状を言う独特の表現を理解している。
11	2	Active Grammar4 助動詞	<ul style="list-style-type: none"> 既習の助動詞を整理して理解することができる。 	①既習の助動詞の使用場面、意味、文の形を理解している。
	10	Unit6 Guide Dogs ◇★☆☆	<ul style="list-style-type: none"> 紹介記事から、ボランティア活動についておおまかな内容を捉えることができる。 わかりやすい文章構成で、紹介記事を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①目的・原因を表す不定詞(副詞的用法)、接続詞 because の文の意味・形・使い方について理解している。 ②伝えたい情報を整理して、紹介したいボランティア活動についての記事を書くことができる。 ③伝えたい情報を整理し、紹介したいボランティア活動についての記事を書こうとしている。
12	2	Active Grammar5 不定詞<形容詞・副詞的用法>	<ul style="list-style-type: none"> 不定詞の形容詞的用法と副詞的用法を理解することができる。 	①不定詞の形容詞・副詞的用法の使用場面、意味、文の形を理解している。
	2	Active Grammar6 接続詞	<ul style="list-style-type: none"> 既習の接続詞を整理して理解することができる。 	①接続詞の使用場面、意味、文の形を理解している。
1	4	Let's Read2 Meet Hanyu Yuzuru	<ul style="list-style-type: none"> インタビュー記事から、人物の経歴や思いを読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①記事の内容を理解したり、音読したりできる。 ②記事の概要を捉えている。 ③読んだ内容から質問などを考えようとしている。
	3	You Can Do It!2 誰もが楽しめるイベントを提案しよう	<ul style="list-style-type: none"> 自分の意見や考えを伝えることができる。 「誰一人取り残さないイベント」を提案するためにインタビューから、必要な情報を聞き取っている。 	<ul style="list-style-type: none"> ①既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに提案内容を発表したりする技能を身につけている。 ②必要な情報を聞き取ることができる。 ③自分の意見や考えを整理して「誰一人取り残さないイベント」を実現する提案をしようとしている。
	2	Daily Life7 オンラインツアー	<ul style="list-style-type: none"> オンラインツアーの案内から、必要な情報を読み取ることができる。 	①既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、ツアーの開催案内や参加者のレビューの内容を読み取ることができる。
2	1	World Tour2 Working Around the World 世界で活躍する人について知るう	<ul style="list-style-type: none"> 世界で活躍する人たちの説明から、文章の流れを捉えることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①既習の表現・語句の意味や働きの理解をもとに、世界で活躍する人について紹介する音声や動画の内容を聞き取る技能を身につけている。 ③職業についての情報を読み取ろうとしている。
	10	Unit7 Working Together ☆	<ul style="list-style-type: none"> ポスター案の説明を聞いて、おおまかな内容を捉えることができる。 複数のポスター案を比べ、自分の意見とその理由を伝え合うことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①比較級、最上級、同等比較の構文を理解している。 ②説明を聞いて、必要な情報を読み取り、適切に理解している。 ③複数の案を比べて、自分の意見とその理由を伝え合おうとしている。
3	2	Active Grammar7 比較表現	<ul style="list-style-type: none"> 比較表現を理解することができる。 	①比較級、最上級、同等比較の意味、文の形を理解している。
	10	Unit8 Performing a Play	<ul style="list-style-type: none"> 手紙から、書き手の意図や気持ちを読み取ることができる。 意図や気持ちが伝わるように、手紙の返事を書くことができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①「want+人+不定詞」、SVOC「make+人・もの+形容詞」、受け身の文の意味・形・使い方を理解している。 ②気持ちを伝える手紙の内容を捉えることができる。気持ちを伝える手紙を書く技能を身につけている。 ③自分の考えを整理して、手紙の返事を書こうとしている。
	2	Active Grammar8 受け身の文	<ul style="list-style-type: none"> 受け身の文について理解することができる。 	①受け身の意味、文の形を理解している。
◆	1	World Tour3 New Seven Wonders of the World	<ul style="list-style-type: none"> 各国の世界遺産の紹介から、必要な情報を聞き取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①受け身や比較表現を理解している。 ②必要な情報を聞き取ることができる。 ③世界遺産の必要な情報を聞き取ろうとしている。
	3	Let's Read3 Emoji's-From Japan to the World	<ul style="list-style-type: none"> 説明文から、絵文字の概要を読み取ることができる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①受け身などの用法について理解している。 ②文章構成を理解し、説明文の概要を捉えている。 ③本文で共感できる内容などを考えようとしている。
	3	You can do it!3 かるたで地域のPRをしよう	<ul style="list-style-type: none"> 説明や描写をすることができる。 自分たちの地域の魅力を伝える名所や名産品について話し合い、かるた札に取り上げたいものを選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> ①郷土かるたの札の内容を聞き取ったり、地域の魅力が伝わると思う名所や名産品について意見を伝え合ったりする技能を身につけている。 ②正確な情報を聞き取り、適切に理解している。 紹介するかるたについて説明することができる。 ③面白いと思ったものを聞き取ろうとしている。 地域のPRをするために、かるたにして紹介したいものについて、意見やその理由などを整理して伝え合おうとしている。

5	Let's Read More1 Plastic Food Samples	・紹介文から、食品サンプルについて必要な情報を読み取ることができる。	①there is,不定詞,接続詞 if を理解している。 ②紹介文から必要な情報を読み取っている。 ③必要な情報を読み取ろうとしている。
5	Let's Read More2 Ainu, My Voice ☆	・映像作品を紹介したブログから、アイヌ民族の歴史や特徴を読み取ることができる。	①比較表現や受け身を理解している。 ②紹介文の概要を捉えている。 ③紹介文から感じたことを考えようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	○新出単語や表現の形・意味・用法に関する知識を身につけ、理解することができる ○正しい発音・リズム・イントネーションで、教科書を音読することができる	○スピーチの文章を考え、発表することができる ○本文の内容や新出表現を用いた文章を理解することができる ○他の生徒の発表を聞いて、その内容を理解することができる ○英語の文章を読んで、その内容を理解することができる ○まとまりのある英文を書くことができる	○英語に興味をもち、積極的に読む、書く、聞く、話そうとする姿勢が見られる ○英語でコミュニケーションをとる意識と姿勢を身につけている ○発表活動に積極的に取り組んでいる
評 価 の 方 法	○定期考査 (1学期 期末考査 2学期 中間考査 期末考査 3学期 学年末考査) ○小テスト ○教科書の音読	○定期考査 (1学期 期末考査 2学期 中間考査 期末考査 3学期 学年末考査) ○小テスト ○パフォーマンステスト ○提出物 ・プリント	○パフォーマンステスト ○小テスト ○提出物 ・プリント ・ノート ・ワークブック

学習のアドバイス

<p>(1)授業態度</p> <ul style="list-style-type: none"> ・必要なものをきちんと揃え、進んで授業に参加する。 ・集中して授業に臨み、先生の話やクラスメイトの意見から学ぼうとする。 ・自身の学習に関する能力をしっかり把握し、伸ばすために努力をする。 <p>(2)提出物</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に学習を進め、内容を推敲した上で期限を守って提出する。 <p>(3)単元ごとのふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の課題を把握し、補うべき単元の理解を進める。 ・学習した基本を、応用できるようになるまで何度も繰り返す。 ・それぞれの単元の目標に対して、自分ができたこと、できなかったこと、その理由が何かを考えることを意識する。

令和7年度 第2学年 音楽科 年間指導・評価計画（年間35時間）

目標	<ul style="list-style-type: none"> ・曲想と音楽の構造や背景などとの関わり、音楽の多様性について理解する。 ・創意工夫をいかした音楽表現するのに必要な、歌唱、器楽創作の技能を身につける。 ・曲にふさわしい音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを味わって聴くことができるようにする。 ・音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かにしていく態度を養う。
----	--

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	2	リズムを理解し、構成を考え創作しよう 「リズムアンサンブル」	リズムを理解し、構成を考え創作活動をし、演奏する。	① 自分の作ったリズムを理解したたく技能を身につけている。(実技テスト) ③ 音楽の構造に関心を持ち音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察・ワークシート)
	2	パートの役割を理解して音楽表現を工夫しよう 「翼を下さい」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして歌う。	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解している。(定期考査) ② リズム・テクスチャ・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、どのように歌うかについて思いや意図を持っている。(ワークシート)
5 ～ 6 ◆	2	曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう「フーガト短調」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	② 音色・旋律・形式・構成・強弱を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聴いている。(ワークシート・授業観察・定期考査)
	2	日本の歌のよさや、美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう「夏の思い出」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。(定期考査) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート)
	2	曲想と音楽の構造との関わりを理解してその魅力を味わおう「交響曲第五番」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲に対する評価とその根拠について考え音楽のよさや美しさを味わって聴く。	② 音色・リズム・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を甘受しながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・授業観察・定期考査)
	2	日本の歌のよさや、美しさを感じ取って歌唱表現を工夫しよう「荒城の月」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。 ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート・定期考査)
7 ～ 10	7	曲の構成や曲想の変化を生かして歌唱表現を工夫しよう 「合唱コンクールの合唱曲」◇	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 創意工夫をいかした表現で歌うために必要な発声、言葉の発音、身体の使い方などを身につけて歌唱で表現している。(実技テスト) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか思いや意図を持っている。(ワークシート・授業観察・定期考査) ③ 音楽活動を楽しみながら学習活動に取り組もうとしている。(授業観察)
10 ～ 12	4	曲想を感じ取って器楽表現をしよう「Yellow Submarine」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容との関わりについて理解し、演奏する。	① 全体の響きや各声部の音などを聞きながら合わせて演奏する技能を身につけている(実技テスト)

◆	3	音階や、言葉の抑揚を生かして創作表現をしよう「My Melody」	音階や、言葉などの特徴、音のつながり方の特徴について理解し、それらを生かしたまとまりのある音楽を作る。	①音のつながり方の特徴について理解している。簡単なリズムの読譜、創作、記譜ができる。民謡音階について理解している。(ワークシート)
	2	曲想と歌詞の内容を理解して歌唱表現を工夫しよう「サンタルチア」	曲想と音楽の構造や歌詞の内容と曲の背景との関わりについて理解し、それを生かして創意工夫して歌う。	① 曲想と音楽の構造や歌詞の内容および曲の背景との関わりについて理解している。(定期考査) ② リズム・旋律・強弱・形式を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら知覚したことと感受したことの関わりについて考えどのように歌うか意図を持っている。(ワークシート)
	2	オペラに親しみその魅力を味わおう「アイーダ」	曲想と音楽の構造との関わりについて理解するとともに、曲や演奏に対する評価とその根拠を自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わう、	② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・定期考査)
1 ~ 3 ◆	3	歌舞伎に親しみ、その魅力を味わおう 鑑賞「勸進帳」長唄「勸進帳」	音楽の特徴と他の芸術との関わりについて理解し、曲や演奏に対する評価とその根拠について考え、音楽を味わって聴く。長唄の特徴をとらえ、曲趣に応じた発声で歌う。	② 音色・旋律・形式・構成を知覚し、それらの働きが生み出す特質や雰囲気を感じながら、その関わりについて考えるとともに曲の美しさを味わって聞いている。(ワークシート・定期考査)
	2	日本の郷土芸能や伝統音楽の特徴、世界の諸民族の音楽の特徴を感じ取ってその魅力を味わおう 鑑賞「郷土の祭りや芸能」「世界の諸民俗の音楽」★☆☆	人々の暮らしの中から生まれた日本の郷土芸能、伝統音楽を聴き、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。 世界の音楽を聴き、音楽表現の共通性や、固有性について自分なりに考え、音楽のよさ、美しさを味わって聴く。	① 諸外国の様々な音楽の特徴とその特徴から生まれる音楽の多様性について理解している。 ② 曲想と音楽の関わり、特徴とその背景となる文化や歴史、我が国の伝統音楽、アジアの諸民族の音楽の特徴と多様性に関心を持ち、音楽活動に取り組んでいる。(ワークシート)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	・曲想と音楽を形作っている要素との関わりを理解している。 ・歌唱・器楽・創作表現をするために必要な技能を身につけている。	・音楽を形作っている要素を知覚し、それらが生み出す特質や雰囲気を感じ、知覚したこととの関わりについて考え、どのように表現するか思いや意図を持っている。また、曲や演奏に対する評価とその根拠を考え、音楽のよさや美しさを味わって聴いている。	・曲想と音楽を形作る要素との関わりに関心を持ち、音楽活動を楽しみながら、主体的・協働的に学習活動に取り組む。
評 価 の 方 法	・実技テスト ・ワークシート ・定期考査	・ワークシート ・実技テスト ・定期考査	・授業観察 ・提出物 ・定期考査

学習のアドバイス

<p>(1)授業態度 いつでも積極的に取り組みましょう。忘れ物がないようにしましょう。</p> <p>(2)提出物 指定された期限に必ず出しましょう。丁寧に記入しましょう。</p> <p>(3)ふりかえり 定期テストの前には必ず復習をしましょう。音楽の表現に関する言葉、記号、その意味についてはしっかり覚えましょう。</p>
--

令和7年度 第2学年 美術科 年間指導・評価計画(年間 35 時間)

目 標	・表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てる。 ・感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。
-----	---

評価の観点:①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時 間	【領域】 単元名	単元のねらい 【教材】	評価規準 (評価方法)
4	1	ガイダンス	授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見通しをもつ。	
	1	【鑑賞／絵画】 ジャポニスム ～文化の出会いがもたらしたもの～ 教科書2・3 P.27～28 「ゴッホと浮世絵」 ★文化	東洋と西洋の芸術が互いに影響しあった作品を鑑賞し、自分なりの考えを互いに話し合いながら、作品の見方や感じ方を広げ、作品のよさや美しさを味わう。 【作品】 葛飾北斎、クリムトなど	① ジャポニスムに関する作品について基礎的知識を身に付けている。(定期考査) ② 色彩や形などの特徴やそれらが表すイメージを感じ取り、自分なりの思いをもって味わっている。(鑑賞レポート) ③ 東洋と西洋のそれぞれの表現に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。(授業の様子、提出状況)
5	6	【表現／絵画】 石神井公園の風景画① ～光と空間の表現～ 教科書 1 P.24～27 「心ひかれるこの風景」 資料 P.4 「遠近感」 ◇自然愛護	地域の身近な場である石神井公園の風景をテーマとして、そのよさや美しさを感じ取りながら主題を生み出し、構図や遠近感の表現を工夫しながら作品の構想を練る。 【教材】 八切画用紙、アクリルガッシュなど	② 主題を基に遠近感や構図を工夫し、作品の構想を練っている。(アイデアスケッチ) ③ 風景画の表現に関心をもち、意欲的に表現活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
6		1 1学期期末考査(6月)		
7	2	【表現／デザイン】 明るい選挙ポスター ～メッセージを伝える～ 教科書2・3 P.70～71、76～77 「メッセージを伝える」 「分かりやすく情報を伝える」 ※夏休みの宿題 ☆公共性	ポスターの表現活動を通して、作品の目的や他者に伝えたいことを基に作品の構想を練り、材料や用具の扱いを工夫して表現する。 【材料】 四切ケン紙、アクリルガッシュなど	① 制作手順や画面構成について理解し、文字の書き方や絵具の塗り方を工夫して作品を表現している。(作品・定期考査) ② 目的や見る人の気持ちを基に主題を生み出し、色彩や形の効果を生かして、作品の構想を練っている。(作品・定期考査) ③ 目的や伝えたいことを基に表現する活動に関心をもち、意欲的に表現に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
	9	【表現／絵画】 石神井公園の風景画② ～光と空間の表現～ 教科書 1 P.24～27 「心ひかれるこの風景」 資料 P.6 「アクリル絵具で描く」	「石神井公園の風景」をテーマに練った作品の構想を基に、色彩や用具の扱い方を工夫して風景画を表現する。 【材料】 四切画用紙、アクリルガッシュなど	① 材料や用具の特性を理解し、主題を表すために創意工夫しながら表現している。(作品・定期考査) ③ 意欲的に表現活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)
10	1	【鑑賞／彫刻】 彫刻の世界 ～日本と世界の彫刻～ 教科書2・3 P.98～100 「美術史の年表」	「ミロのヴィーナス」や高村光太郎の「手」など、様々な時代の日本と世界の彫刻作品を鑑賞し、色や形の特徴を感じ取り、自分なりの思いをもって、作品のよさや美しさを味わう。 【作品】 「ミロのヴィーナス」、「手」など	① 彫刻作品に関する基礎的知識を身に付けている。(定期考査) ② 人体の動静、作者の意図や工夫などを、自分なりに感じ取っている。(ワークシート、定期考査) ③ 彫刻作品に関心をもち、積極的に活動に取り組もうとしている。(授業の様子、提出状況)
11	4	【表現／彫刻】 石神井中に潜むヨウセイ① ～量感・動勢・生命感の表現～ 教科書2・3 P.48～49 「躍動感を捉える」 資料 P.16「粘土でつくる」	「石神井中に潜むヨウセイ」をテーマに、場所の特徴や場所への思いを基にイメージを膨らませて主題を生み出し、主題を基に形や色彩の効果を生かして表現の構想を練る。 【教材】 タブレット PC、色鉛筆	② 主題を基に想像力を働かせて、形や色彩の効果を生かして創造的な構成を工夫し、心豊かに表現の構想を練っている。(作品) ③ 場所からイメージを膨らませて表現する活動に関心をもち、意欲的に表現活動に取り組んでいる。(授業の様子、提出状況)

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

◆	1	2学期期末考査(11月)		
	12	<p>【表現／彫刻】 石神井中に潜むヨウセイ② ～量感・動勢・生命感の表現～</p> <p>教科書2・3 P48～49 「躍動感を捉える」 資料 P.16「粘土でつくる」</p>	<p>「石神井中に潜むヨウセイ」をテーマに練った作品の構想を基に、粘土やヘラなどの扱いを工夫して立体作品を表現する。</p> <p>【教材】石粉粘土、アルミ線、アルミ箔、ラミネートなど</p>	<p>① 形や色彩などの表し方を身に付け、表現したいイメージをもちながら意図に応じて粘土やヘラなどの生かし方などを考え、創意工夫して表現している。 (作品・定期考査)</p> <p>③ 意欲的に表現活動に取り組んでいる。 (授業の様子、提出状況)</p>
◆	1	7		
	2	<p>【鑑賞／彫刻・絵画】 岡本太郎 ～「明日の神話」～</p> <p>教科書2・3 P24～26 「明日の神話を鑑賞しよう」</p>	<p>岡本太郎の作品を鑑賞し、その色彩や形、材料などから作者の意図などを感じ取り、作品を味わう。</p> <p>【作品】「太陽の塔」「明日の神話」</p>	<p>① 岡本太郎の作品について基礎的な知識を身に付けている。(定期考査)</p> <p>② 作品から表現の特徴を感じ取り、形や色彩から自分なりの思いや考えをもって味わっている。(鑑賞レポート)</p> <p>③ 岡本太郎の作品に関心をもち、意欲的に鑑賞しようとしている。(授業の様子、提出状況)</p>
◆	1	3学期期末考査(2月)		
	3	<p>【表現／絵画】 立体的なイラスト ～透視図法～</p> <p>資料 P4「遠近感」</p>	<p>透視図法を学習し、様々なイメージを表現するための技能を身に付ける。</p> <p>【教材】ワークシート、定規など</p>	<p>① 透視図法による遠近感の表現を理解し、課題に応じて作図することができる。(定期考査)</p> <p>③ 遠近感の表現に関心をもち、意欲的に学習活動に取り組んでいる。(授業の様子)</p>

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に取り組む態度
評価の趣旨	<ul style="list-style-type: none"> 対象や事象を捉える造形的な視点について理解している。 意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表している。 	<p>自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と創造的な工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の働きなどについて独自の・総合的に考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。</p>	<p>美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現及び鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。</p>
評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> 制作過程、道具の使い方 作品 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> ワークシート 作品 制作過程、アイデアスケッチ 定期考査 	<ul style="list-style-type: none"> 授業の様子 持ち物、準備 作品等提出状況

学習のアドバイス

【授業】

- ① 作品や用具などの準備を素早く行おう。忘れ物には注意しよう。
- ② 活動中に無用な私語をせず、集中して取り組もう。
- ③ 作品や用具などの片付けを素早くし、その日の活動を振り返ろう。
- ④ 必要に応じて表現のための資料を家庭等で準備しよう。
- ⑤ 表現活動のペースを調整し、適切な進度を保とう。(ペースが遅ければ家庭等で進め、早ければ工夫できる点を探そう。)
- ⑥ 提出物は、期限を守って提出しよう。

【テスト勉強】

- ① 授業中に配布されたプリントをしっかりと確認しよう。
- ② 練習問題に取り組み、自分の理解度を確認しよう。分からないところはプリントで確認しよう。

令和7年度 第2学年 保健体育科 年間指導・評価計画(年間105時間)

目標	心と体を一体としてとらえ、運動や健康・安全についての理解と運動の合理的な実践を通して、生涯にわたって運動に親しむ資質や能力を育てるとともに、健康の保持増進のための実践力の育成と体力向上を図り、明るく豊かな生活を営む態度を育てる。
----	--

評価の観点 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的に学習に取り組む態度

月	時間	【領域】 内容	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5	7	【体づくり運動】 体ほぐしの運動 体力を高める運動 ◇☆	・体ほぐしの運動では、①心と体の関係に気付く。②体の調子を整える。③仲間と交流するための運動を行うことで体を動かす楽しさや心地よさを味わう。体力を高める運動では、目的に合った運動を身につけ、組み合わせることができるようにする。	① 体づくり運動の意義と行い方などを理解している。 ② 自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己や仲間の考えたことを伝えようとしている。 ③ 体づくり運動に積極的に取り組むとともに、仲間の学習を援助すること、一人一人の違いに応じた動きなどを認めようとする、話し合いに参加しようとするなどや健康・安全に気を配りながら取り組んでいる。
	7	【陸上競技】 短距離走・リレー☆☆	・クラウチングスタートの身体の適切な使い方を復習して自身のやりやすい方法を工夫する。 ・スタンディングスタートとの違いや、加速の重要性を理解し、実践する。 ・自己の最大スピードを高めたり、バトンの受渡しでタイミングを合わせたりして、個人やチームのタイムを短縮したり、競争したりできるようにする。 ・オリンピックと短距離走との関係について理解する。	① 陸上競技の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 ③ 陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすることや健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
6 ◆ 7	7	【球技】 バレーボール★	・授業で習得した技能を用いながら、(ゲームにおいて)ラリーを続ける楽しさや喜びを味わうことができる。 ・オリンピックとバレーボールの関係について理解する。	① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	7	【水泳】 クロール 平泳ぎ★◇	・記録の向上や競争の楽しさや喜びを味わい、水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、その運動に関して高まる体力などを理解するとともに、泳法を身に付ける。 ・オリンピックと水泳の関係について理解する。 ・手と足の動き、呼吸のバランスをとり、速く、長く泳ぐことができるようにする。	① 水泳の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。 水泳の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している ② 泳法などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 ③ 水泳の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、水泳の事故防止に関する心得など健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
9	8	【器械運動】 「跳び箱運動」	・器械体操の歴史や種目について理解する。 ・技がよりよくできるように、自己の努力や工夫によって課題解決に取り組み、達成した喜びを味わうことができるようにする。	① 器械運動の特性に応じた技を身に付けている。 器械運動の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 技などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 ③ 器械運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、よい演技を認めようとする、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

10 11	8	【陸上競技】 走り幅跳び 走り高跳び	<ul style="list-style-type: none"> ・走り高跳びでは、リズムカルな助走から力強く踏み切って、滑らかな空間動作で跳ぶことを学習する。 ・走り幅跳びでは、助走やスピードを生かして素早く踏み切りより遠くへ跳んだり、競争したりできるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 陸上競技の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 動きなどの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 ③ 陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすることや健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
9 10 11	7	【球技】ゴール型 ハンドボール	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型の特性、個人的技能、戦術等について、理解する。 ・互いに協力し、公正な態度で安全に運動することができるようにする。基本的な技能を身に付け、集団で協力しながら(勝敗を競い合い、ゲームを)進めていくことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
11 ◆ 12	9	【武道】 柔道★	<ul style="list-style-type: none"> ・技ができる楽しさや喜びを味わい、武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、その運動に関連して高まる体力などを理解するとともに、基本動作や基本となる技を用いて簡易な攻防を展開する。 ・柔道とオリンピックの関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 武道の特性に応じて、攻防を展開するための基本動作や基本的な技を身に付けている。 武道の特性や成り立ち、伝統的な考え方、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 攻防などの自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができている。 ③ 武道の楽しさや喜びを味わうことができるよう、相手を尊重し、伝統的な行動の仕方を守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすることや、禁じ技を用いないなど健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
12	7	【球技】ネット型 バドミントン★	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で習得した技能を用いながら、(ゲームにおいて)ラリーを続ける楽しさや喜びを味わうことができる。 ・オリンピックとバドミントンの関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。 球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
1	7	【陸上競技】 長距離走☆	<ul style="list-style-type: none"> ・発達段階において中学生期に最も発達する心肺機能の向上をねらいとして、1000m や 1500m を何分で走れるか、自己の課題に向けて努力をし、達成できた喜びや励まし合うことの大切さなどを身に付けていくことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 陸上競技の特性に応じた基本的な動きや効率のよい動きを身に付けている。 陸上競技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力を理解している。 ② 陸上競技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 陸上競技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、勝敗などを認め、ルールやマナーを守ろうとすることや健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
1	3	【体育理論】 運動やスポーツが心身の発達に与える効果と安全	<ul style="list-style-type: none"> ・運動やスポーツを行うことは、心身の発達や社会性を高める効果があり、その際に、健康、安全に留意することを学習する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 運動やスポーツの意義や効果などについて学習した知識を活用したり応用したりしている。 運動やスポーツの意義や効果などについて理解している。 ② 運動やスポーツが多様であること、運動やスポーツの意義や効果などについて、学習した知識を活用したりお応用したりしている。 ③ 運動やスポーツの意義や効果などについて関心をもち、学習に積極的に取り組もうとしている。

2 ◆ 3	7	【球技】 「ゴール型」 バスケットボール ★★	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型の特性、個人的技能、戦術等について、理解する。 ・互いに協力し、公正な態度で安全に運動することができるようにする。基本的な技能を身に付け、集団で協力しながら(勝敗を競い合い、ゲームを)進めていくことができるようにする。 ・バスケットボールとオリンピックの関係について理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 攻防などの自己やチームの課題を発見し、合理的な解決に向けて運動の取り組み方を工夫するとともに、自己の考えたことを他者に伝えることができる。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
	6	【球技】ゴール型 サッカー☆	<ul style="list-style-type: none"> ・ゴール型の特性、個人的技能、戦術等について、理解する。 ・互いに協力し、公正な態度で安全に運動することができるようにする。基本的な技能を身に付け、集団で協力しながら(勝敗を競い合い、ゲームを)進めていくことができるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 球技の特性に応じて、ゲームを展開するための基本的な技能や仲間と連携した動きを身に付けている。球技の特性や成り立ち、技術の名称や行い方、関連して高まる体力、試合の行い方を理解している。 ② 球技を豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。 ③ 球技の楽しさや喜びを味わうことができるよう、フェアプレイを守ろうとすること、分担した役割を果たそうとすること、作戦などについての話し合いに参加しようとするなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

2. 学習計画(保健)

通 年 ◆	16	<ul style="list-style-type: none"> ・生活行動・生活習慣と健康 ・喫煙、飲酒、薬物乱用と健康 ☆ ・傷害の防止◇ 	<ul style="list-style-type: none"> ・健康の保持増進には年齢、生活習慣等に応じた食事、運動、休養及び睡眠の調和のとれた生活を続ける必要があることを理解する。 ・傷害の発生には様々な要因があり、それらに対する適切な対策によって防止できること、また応急手当は傷害の悪化を防止することができることを理解する。 	<ul style="list-style-type: none"> ① 健康の成り立ちと疾病の発生要因、生活行動・生活習慣と健康、喫煙、飲酒、薬物乱用と健康について課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活との関わりを理解している。交通事故や自然災害などによる傷害の発生要因やそれらによる傷害の防止、応急手当について、課題の解決に役立つ基礎的な事項及びそれらと生活とのかわりを理解している。 ② 健康な生活と疾病の予防について、課題の解決を目指して、知識を活用した学習活動などにより、科学的に考え、判断し、それらを表している。傷害の防止について、課題解決を目指して、知識を活用した学習などにより、科学的に考え判断し、それらを表現している。 ③ 健康な生活と疾病の予防について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。傷害の防止について関心をもち、学習活動に意欲的に取り組もうとしている。
-------------	----	---	--	--

◆定期考査 ◇道徳 ★オリパラ教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	各運動の特性や成り立ち、技の名称や行い方、伝統的な考え方、各領域に関連して高まる体力、健康・安全の留意点についての具体的な方法および運動やスポーツの多様性、運動やスポーツの意義や効果と学び方や安全な行い方についての考え方を理解しているとともに、各領域の運動の特性に応じた基本的な技能を身に付けている。	運動や豊かに実践するための自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて、課題に応じた運動の取り組み方や目的に応じた運動の組み合わせ方を工夫しているとともに、それらを他者に伝えている。	運動の楽しさや喜びを味わうことができるよう、公正、協力、責任、共生などに対する意欲をもち、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物の内容 ・授業内の発言 ・学習カード ・実技試験 ・定期考査 ・授業内小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・提出物の内容 ・授業内の発言 ・学習カード ・実技試験 ・定期考査 ・授業内小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・授業観察 ・忘れ物 ・提出物の状況・内容 ・授業内の発言 ・学習カード

学習のアドバイス

(1)授業態度

[体育分野]

○授業への実質的参加を第一に考えましょう。

・健康管理に細心の注意をし、欠席、見学をしなくてもよいようにしましょう。

(見学の場合も原則として体育着を着用します。生徒手帳に保護者のサインをもらってこること。)

○安全への配慮をしましょう。

・指定された体育着、体育館シューズを正しく身につけましょう(爪も短くしておいてください)。

・準備や片づけなど、場の安全を確認してから行動しましょう。

○課題意識をしっかりと持ちましょう。

・どうしたらうまく表現できるのか意識して取り組みましょう。

・教えあう仲間を大切にし、互いに学びあう関係を築きましょう。

・学習カードを活用し、学びの振り返りをしましょう。

[保健分野]

○課題意識をしっかりと持ちましょう。

・健康を巡る諸問題を学びます。プリントまたはワークを活用し、学んだ内容を整理しておきましょう。

・ともに考える仲間を大切にし、互いに学びあう関係を築きましょう。

(2)提出物

・保健学習ノート ・学習カード ・その他指示があったもの

(3)単元ごとのふりかえり(定期考査)

○授業で学んだことが出題の範囲となります。

・体育分野については、授業で行った内容を整理しましょう。また資料集で体の動きや種目のルールを確認しましょう。

・保健分野については、授業で使用したプリントや教科書の内容、領域によっては実習の手順を確認しましょう。

令和7年度 第2学年 技術・家庭科(技術分野) 年間指導計画・評価計画(年間35時間)

目標	◎生活に必要な基礎的・基本的な知識及び技術の習得を通して、生活と技術とのかかわりについて理解を深め、進んで生活を工夫し創造する能力と実践的な態度を育てる。 ◎ものづくりなどの実践的・体験的な学習活動を通して、材料と加工，エネルギー変換，生物育成及び情報に関する基礎的・基本的な知識及び技術を習得するとともに、技術と社会や環境とのかかわりについて理解を深め、技術を適切に評価し活用する能力と態度を育てる。
----	--

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	【領域】 題材名	単元のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4	1	【ガイダンス】 生活や社会にける技術の役割	○技術分野の学習内容や学習の進め方についての見通し ・技術分野で学ぶこと ・技術を見つけよう ・技術とわたしたちの生活 ・学習の見直しをもとう	③技術分野の学習内容に関心をもっている。 ②技術が生活や社会に影響を与えていることに気づくことができる。 ③技術の進展と環境との関係に関心を示している。 ③学習の進め方に見直しをもっている。
5 6 7 9 10 11 12 1	9 (1) 6 11	A 材料と加工の技術 「初めての木工キット」 「ミラクルラック」	○材料と加工の技術についての基礎的 ○身の回りの製品を観察し、使用されている材料やその加工方法や工夫されていることを調べる。 ○木材や金属などの材料の特性に関係する観察を行う。 ○木材や金属、プラスチックの特徴と加工法を調べる。 ○身の回りの製品や社会の中にあるじょうぶにするための工夫を調べる。 ○製図のルールを知る。◇ ○材料と加工の技術による問題解決の手順を調べ、問題解決の視点について考える。 ○生活の中から、身の回りの問題を見いだして、課題を設定する。 ○材料取りと部品加工 ○組立てと仕上げ ○これまでの学習を振り返る。 ○材料と加工の技術による問題解決 <制作実習を通して学習>	②材料と加工の技術の工夫に気づいている。 ①材料の主な特徴や材料と環境との関わりについて理解している。 ①材料に適した作業方法、製作図の必要性やかき方について理解し、基本的な製作図をかくことができる ②使用の目的や条件に適した機能や構造、材料と加工方法などを考えることができる。 ①材料に合わせた適切な加工方法を理解している。 ①材料に適した作業方法、製作図の必要性やかき方について理解し、基本的な製作図をかくことができる。 ②材料に合わせて適切な加工ができる。 ②材料と加工の技術の見方・考え方を働かせて問題を発見することができる。
2 3	5 (2)	A 木材と加工の技術 「キーホルダー制作」	○社会の発展と材料と加工の技術 ・材料と加工に関する技術の評価・活用	①材料と加工の技術が社会や環境に果たしている役割と影響について理解している。 ②材料と加工の技術の課題を社会的、環境的及び経済的側面などから比較・検討し、適切な解決策を見出そうとしている。 ③材料と加工の技術の課題を進んで見つけようとしている。

◆定期考査 ◇道徳 ★オリンピックパラリンピック教育 ☆人権教育

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	【生活や技術についての知識・技能】 生活や社会で利用されている技術についての基礎的・基本的な知識・技能を身に付け、技術と生活や社会、環境との関わりについて理解している。	【生活を工夫し創造する能力】 生活や社会における技術に関わる問題を見出して課題を設定し、その解決を目指して、技術を評価、選択、管理・運用、改良、応用している。	【主体的に実践する態度】 進んで技術と関わろうとするとともに、主体的に技術に関する知識・技能を身に付け、よりよい生活や持続可能な社会を構築するために適切かつ誠実に技術を工夫し創造しようとしている。
評価の方法	【下記の評価資料にて評価を行う】 ・定期考査 ・課題およびレポート ・ワークシートや技術ノート等 ・作業状況や作品	【下記の評価資料にて評価を行う】 ・定期考査 ・課題およびレポート ・ワークシートや技術ノート等 ・作業状況や作品	【下記の評価資料にて評価を行う】 ・定期考査 ・課題およびレポート ・ワークシートや技術ノート等 ・作業状況や作品

学習のアドバイス

- | | |
|---------------|---|
| (1)授業態度 | 授業では作業の進め方やコツ、大切なことなどの必要なことを話します。話の内容が、確実に理解でき、作業が主体的にすすめられるような授業態度を求めます。
具体的にこのような態度をというよりは、生徒の皆さんそれぞれが、主体的に取り組めるようになっているかが大切です。また、それは作業効率や作品の出来に大きく影響します。
ですから、自分からポイントを押さえて先生に助言を求めたり、意見をもらったりする姿勢が大切です。 |
| (2)提出物 | 提出物は期限を守ることが大切です。また、提出に関して、不明なことや不確かなことは、自ら先生に聞きましょう。 |
| (3)単元ごとのふりかえり | 提出物や作品、定期考査などで、学習状況を自分自身で振り返られるよう技術の授業に精力的に取り組みましょう。 |

※令和 6・7 年度については、1・2学年は2年間計画で共通の内容を実施しているため、1・2学年で同じ計画になっています。
学習すべき内容は、3年間で履修をします。

令和7年度 第2学年 技術・家庭科(家庭分野) 年間指導・評価計画(年間35時間)

目標	<p>○生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1)生活と技能についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身につけるようにする。</p> <p>(2)生活や社会の中から問題を見出して課題を設定し、解決策を構築し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。</p> <p>(3)よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。</p>
----	--

【 評価の観点 観点①知識・技能 観点②思考・判断・表現 観点③主体的に学習に取り組む態度 】

月	時間	題材名	題材のねらい 主な学習内容	評価の規準(評価方法)
4 5 6 ◆ 7	1	ガイダンス	<ul style="list-style-type: none"> ・授業で用いる教材や年間の授業計画を確認し、1年間の活動の見直しをもつ。 	<ul style="list-style-type: none"> ③1年間の授業計画を見通して、計画を立てることができる。 ①1年間の見直しの中で、食品とその選択として、ワークの確認問題を積極的に取り組むことができる。
	2	C.消費生活と環境 1、消費生活のしくみ 2、購入・支払いと生活情報 3、消費者被害と消費者の自立 4、持続可能な社会に向けて	<ul style="list-style-type: none"> ・1年生の復習と確認 ・物資とサービスの特徴がわかる。 ・消費生活のしくみがわかる。 ・店舗販売と無店舗販売の特徴がわかる。 ・即時払い、前払い、後払いの特徴を理解し、利点と問題点を理解する。 ・消費者被害の現状や背景について理解し、予防の方法がわかる。 	<ul style="list-style-type: none"> ②物資とサービスの選択と購入について、問題を見いだして課題を設定している。 ①購入方法や支払い方法の特徴について、理解している。 ③消費者被害について、課題解決に向けて、主体的に取り組もうとしている。
	11	B.衣食住の生活 1、人間にとっての食事 2、食品と栄養素 3、中学生に必要な食事 5、献立づくり 6、持続可能な食生活 4、日常食の調理と地域の文化食	<ul style="list-style-type: none"> ・食事の役割について理解し、毎日の食生活に関心をもつ。 ・健康によい食習慣について学び、規則正しく食事をとることの重要性を理解する。 ・中学生の時期の身体的特徴を理解し、中学生に必要な栄養の特徴がわかる。 ・食品は、栄養的特質により、食品群に分類されることを理解する。 ・栄養バランスのとれた献立計画を立てる。 ・調理の流れと手順がわかり、計画を立てることができる。 ・調理室の使い方、掃除の仕方を理解する。 ・調理用具の場所、取り扱いの確認をする。 ・練馬区の課題である、朝ごはんコンクールの作品を考え、実習し、レポートにまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生活の中で食事が果たす役割を理解している。 ①食事の役割と中学生の栄養の特徴について、課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ①中学生に必要な栄養の特徴について、理解している。 ①栄養バランスのとれた献立について、理解している。 ②献立の作成から課題を見つけ、解決しようとしている。 ③自分の好みを反映した献立作りを通して、よりよい食生活を実現しようとしている。 ③調理実習を通して、調理室、調理道具を適切にできる。 ①中学生の1日に必要な食品の種類と概量が分かり、「朝ごはん」の献立作成について理解している。 ②「朝ごはん」コンクールに向けて、中学生に適した「朝ごはん」の課題解決に向けて主体的に取り組もうとしている。

<p>9 10 11 ◆ 12 1</p>	<p>12</p>	<p>4、日常食の調理と地域の文化食◇</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・調理の計画を立て、時間を意識して実習ができる。 ・肉の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、肉を調理することができる。 ・調理器具の適切な取り扱いができる。 ・魚の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、魚を調理することができる。 ・野菜の特徴や調理上の取り扱い方がわかり、野菜を調理することができる。 ・生鮮食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて生鮮食品を確かな目で選択、保存できる。 ・加工食品の特徴がわかる。 ・目的に応じて加工食品を選択できる。 ・パッケージから、食品の表示を読み取り、レポートにまとめることができる。 ・さまざまな食文化を理解する。 ・食品を選択するとき、食品の安全や情報に関心をもって選択できるようにする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①肉の調理の仕方について、理解しているとともに適切にできる。 ①魚の味噌煮について、理解しているとともに適切にできる。 ①野菜の調理の仕方について、理解しているとともに適切にできる。 ③それぞれの実習において、調理について工夫し、実践しようとしている。 ②それぞれの実習の食品の選択や調理の仕方について、考え、工夫している。 ③実習を振り返り実践を評価したり、改善したりしている。 ①生鮮食品・加工食品の特徴について理解している。 ①用途に応じた(肉・魚・野菜)の選択について、理解しているとともに適切にできる。 ②お菓子のパッケージの原材料の読み取りから、食品を選択・購入する時の課題を見つけ、消費者としての課題設定をしている。 ①食品添加物について、理解している。
<p>2 ◆ 3</p>	<p>9</p>	<p>B,衣食住の生活◇ 1、人間にとっての住まい 2、生活に必要な住空間 3、自然とともにある住生活</p> <p>4、安全で健康的な住生活</p> <p>5、持続可能な住生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・住まいの基本的な役割について理解する。 ・日本の伝統的な住まいの特徴を知る。 ・住まいの空間の使い方について理解する。 ・家庭内事故の種類とその原因を知る。 ・幼児や高齢者の安全を考えた住まい方について工夫する。 ・さまざまな災害に備えて、室内を安全に整備する必要とその方法について理解する。 ・災害時に中学生として、自分たちができることを考え、実践することができる。 ・ノーマライゼーションとユニバーサルデザインのある生活について、理解できる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①家族の生活と住空間との関わりについて、理解している。 ①住居の基本的な機能について、理解している。 ②条件に合わせた住まい方を考える。 ③住まい方のモデルに創意工夫を凝らし、主体的に取り組もうとしている。 ①家庭内事故の種類とその原因について理解している。 ③家庭内事故における家族の安全を考えた住空間の整え方について、問題を見いだし課題を設定している。 ③家族の安全を考えた住空間の整え方について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ①災害の種類や、その対策について理解している。 ②災害時に中学生として、自分たちができることの課題を見いだし、考える。 ③災害に備えた暮らしについて、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ①ノーマライゼーションとユニバーサルデザインのある生活について知ることができる。 ②多様な人と共生する住まい方について考えることができる。 ③共生社会について、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。

評価計画(各観点の評価方法)

観点	① 知識・技能	② 思考・判断・表現	③ 主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	家族・家庭の基本的な機能について理解を深め、生活の自立に必要な家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。	これからの生活を展望し、家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、思考したことを論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し創造し、実践しようとしている。
評 価 の 方 法	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート ・小テスト 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート 	<ul style="list-style-type: none"> ・行動観察 ・ワークシート ・定期考査 ・作品やレポート

学習のアドバイス

- (1) **授業態度** タブレット PC を活用した授業が多くなります。話を聞くときは手を止めるなど、緩急をしっかりとつけましょう。
- (2) **提出物** 提出物は期限を守る習慣をつけましょう。また、提出物の書き方に気をつけると、よいまとめになります。
- (3) **題材ごとのふりかえり** 定期テストの前にはワークシートやレポートの振り返りをおきましょう。記述の練習も必要です。